

令和6年度富山大学入学者選抜における 薬学部薬学科「総合型選抜（地域枠）」の新たな実施について

富山大学薬学部では、富山県内における薬剤師供給不足解消に貢献するため、令和6年度の入学者選抜から、薬学科において、新たに富山県内の高等学校等出身者を対象とした「総合型選抜（地域枠）」を実施します（別紙1）。

■「総合型選抜（地域枠）」の実施の背景と目的

薬剤師の養成・確保について、我が国では薬剤師の地域偏在が指摘されており、富山県内における薬剤師の供給不足は、「地域医療」の基盤が損なわれるおそれのみならず、本県の基幹産業である「医薬品産業」の地盤沈下をもたらしかねないものです。これまで、本県への薬剤師定着に関しては、「富山県・富山大学連携推進会議」などの場においても幾度となく議論され、問題意識の共有や取組についての検討を重ねてまいりました。

地域に立脚した本学薬学部として、県内薬剤師定着の促進を図るための対策として、この度、富山県内の高等学校等出身者を対象とする、新たな薬学科生の選抜・入試制度である「総合型選抜（地域枠）」を創設することといたしました。

本選抜区分の創設により、富山県と密接に連携しつつ、地域医療を志し、更に地域医療の質の向上・製薬企業の興隆を担える高度な薬剤師を持続的に供給する体制構築を目指してまいります。

■「総合型選抜（地域枠）」の実施による効果

本学薬学部薬学科では、近年、薬学科の入学定員を55名から70名に増員する他、博士（薬学）の学位を取得して、社会的リーダーとして活躍できる、薬剤師の資格を持った薬学研究者を志望する学生を受け入れる等、多様な社会的ニーズに対応するための薬剤師養成を推進してきております。また、薬学部内に「臨床薬学教育推進センター」を設置し、学内外の連携を強化し、学生教育をサポートする体制ならびに卒業生の地域定着を推進する体制を構築してまいりました。さらに地域の高校生や中学生に向けては、本学薬学部の魅力を伝えるため、対話形式の活きた授業を学内の講義室にて開催する他、薬学部教員が地域の高校に出向いて「くすりの富山」に関する現状と未来について語る会を開催するなど、薬学部への進学者を増やすための様々な取組みを行ってきています。

今回の「総合型選抜（地域枠）」の新たな実施により、地域が必要とする医療人を養成し、県内の医療や製薬産業に貢献できる人材を輩出します。本選抜の入学者は、入学後に「地域創生コース（仮称）」に配属されます。本コースでは、富山県及び関係団体等の協力のもと、富山県内製薬企業へのインターンシップや富山県内病院・行政等の見学ローテーションなど、地域が必要としている医療人として活躍する薬剤師を志す学生をフォローアップするための「地域創生型カリキュラム（仮称）」（詳細は別紙2・別紙3参照）を整備いたします。

当該カリキュラムにおいては、本選抜で入学した学生がリーダーシップを発揮できるよ

う工夫することで、他の選抜区分で入学した者への波及効果が期待でき、薬学科全体で、地域医療に対する関心と理解を深めてまいります。さらに、本選抜で入学した学生が、国内外との交流を進めることで、俯瞰的視点から地域を捉える力を醸成し、地域の活性化に貢献することが期待できます。

■「総合型選抜（地域枠）」入学生を対象とした奨学金制度創設に係る富山県への要望

本学薬学部薬学科において「総合型選抜（地域枠）」を創設するに際し、在学中は学業に集中できる環境を確保し、卒業後には富山県に定着する体制を構築することが求められます。

そこで、本学においては富山県に対し、「総合型選抜（地域枠）」で入学した学生を対象として、一定の要件で返済を減免する奨学金制度の創設について、後日改めて要望することとしております。

令和 6 年度入学者選抜方法等の変更（予告）

薬学部では、富山県内における薬剤師供給不足解消に貢献するため、県内の持続的な薬剤師供給体制を構築し、地域医療の質の向上、産業の興隆に資することを目的に、令和 6 年度の入学者選抜から、薬学科において、新たに富山県内の高等学校出身者等を対象とした「総合型選抜Ⅰ（地域枠）」を実施します。なお、従前の総合型選抜については、「総合型選抜Ⅰ（研究者養成枠）」と名称変更して実施する他は、募集人員、出願要件並びに選抜方法等について、変更はありません。

総合型選抜Ⅰ「地域枠」

実施学部・学科名	薬学部薬学科
募 集 人 員	10 人
出 願 要 件	次の（１）または（２）のいずれかに該当し、かつ①と②に該当する者 （１）富山県内の高等学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が指定した専修学校高等課程又は高等専門学校第 3 学年を令和 6 年 3 月卒業（修了）見込みの者（学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき、令和 5 年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。）又は卒業（修了）後 1 年以内の者 （２）出願時に富山県在住で、令和 4 年 4 月以降に高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者 ① 薬剤師の資格を取得後、薬剤師として富山県内の地域医療や製薬産業に貢献するという強い意志を有する者 ② 合格した場合に入学が確約できる者
選 抜 方 法 等	第 1 次選抜：書類審査（自己推薦書、調査書）及び「小論文・適性検査」の結果を総合的に評価する。 ※「小論文・適性検査」は英語、数学（注）、化学、物理における基礎学力を問う内容を含む。 （注）数学の出題範囲は数学Ⅲを含む。 最 終 選 抜：第 1 次選抜合格者に対し、面接及びプレゼンテーション（質疑応答含む）を課し、第 1 次選抜の評価とともに総合的に評価する。ただし、面接又はプレゼンテーションにおいて評価が「不可」の場合は、合格の対象としない。
そ の 他	・「総合型選抜Ⅰ（研究者養成枠）」、「学校推薦型選抜Ⅰ」との併願はできない。 ・本選抜の入学者は、入学後に地域創生コース（仮称）に属します。本コースでは、富山県及び関係団体等の協力のもと、富山県内製薬企業へのインターンシップ、富山県内病院・行政等の見学ローテーションなど、地域が必要としている医療人として活躍する薬剤師を志す学生をフォローアップするための「地域創生型カリキュラム（仮称）」が用意されています。

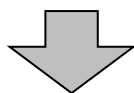
令和6年度入学者選抜における募集人員の変更（予告）

令和6年度（令和5年度実施）の入学者選抜から薬学部薬学科において、以下のとおり募集人員を変更します。

薬学部

学科	入学定員	令和5年度入学者選抜募集人員（変更前）							
		一般選抜		総合型選抜		特別選抜			
		前期日程	後期日程	I	II	学校推薦型選抜		帰国生徒選抜	社会人選抜
						I	II		
薬学科	70	<u>40</u>	5	10	—	<u>15</u>	—	若干名	—

注1) 「総合型選抜Ⅰ」及び「学校推薦型選抜Ⅰ」は大学入学共通テストを課さないもの、
「総合型選抜Ⅱ」及び「学校推薦型選抜Ⅱ」は大学入学共通テストを課すものを表します。



学科	入学定員	令和6年度入学者選抜募集人員（変更後）							
		一般選抜		総合型選抜		特別選抜			
		前期日程	後期日程	I	II	学校推薦型選抜		帰国生徒選抜	社会人選抜
						I	II		
薬学科	70	<u>35</u>	5	研究者養成枠 <u>10</u> 地域枠 <u>10</u>	—	<u>10</u>	—	若干名	—

注1) 「総合型選抜Ⅰ」及び「学校推薦型選抜Ⅰ」は大学入学共通テストを課さないもの、
「総合型選抜Ⅱ」及び「学校推薦型選抜Ⅱ」は大学入学共通テストを課すものを表します。

注2) 下線を付した部分が、令和5（2023）年度と異なる箇所を示します。

「地域創生型カリキュラム（仮称）」について

■「地域創生型カリキュラム（仮称）」の主な内容

学年	科目（正課外での取組）	内容
1 年次	薬学概論	県内病院・薬局の見学や富山県厚生部講師による県内薬事行政等の講義をとおして、薬学人としての意識や薬学を学ぶためのモチベーションを高めます。
	製薬企業概論	県内製薬企業から講師を招き、講義に加えディスカッションやプレゼンテーションをとおして、必要な知識や卒業後の将来像を描く基礎を修得します。
2 年次	和漢医薬学入門	和漢薬・漢方薬の基本的事項や和漢診療、和漢薬研究法の基礎など、富山に特徴ある東西医薬学融合について、医学部（医学・看護学）学生と共に学びます。
	富山のくすり学	我が国及び富山県のくすりの歴史・現状・未来について、県内製薬企業等実例を踏まえながら学びます。
3 年次	企業薬剤師育成学 企業薬剤師インターンシップ 薬剤師キャリアデザイン学	県内製薬企業へのインターンシップや、県内病院・薬局・行政の見学ローテーションをとおして、具体的な将来像を意識しながら各機関の特徴や魅力などを学びます。
	とやま薬学演習	地域創生コース（仮称）配属学生が中心となり、富山にゆかりのある薬や製剤の調査研究、ディスカッション等のグループワークをとおして、薬物の探索、合成、構造活性相関、薬理作用、臨床応用、体内動態、副作用、相互作用等、薬学の役割を総合的に学びます。
4 年次	薬学経済	第一線で活躍する本学薬学部卒業生を講師として招き、実務経験を基にした講義やディスカッションをとおして自身の将来設計のために修得すべきことを見出します。
	県内インターンシップ事業（病院・薬局・企業）	【正課外】富山県と連携し、将来的に目指す職種に応じてインターンシップのマッチングを行います。
5 年次	実務実習	県内病院・薬局での長期実務実習をとおして、具体的な技術を修得し、薬剤師業務についての見識を深め、薬剤師の職能を理解します。
	薬都とやま未来懇談会	【正課外】富山県内企業への就職、将来の人材確保、薬学系業界の未来予測などについて理解を深めます。
6 年次	海外薬学演習	南カリフォルニア大学等連携校への短期海外派遣を行います。

※上記科目は、「地域創生型カリキュラム（仮称）」の主要な科目・取組を抜粋したものです。

※「地域創生コース（仮称）」配属学生以外にも、受講を推奨し、地域医療に対する関心と理解を深めてまいります。

富山大学薬学部薬学科「地域枠」入試の実施について

～地域への深い理解と高度な専門性を有する薬剤師を中核とした富山県内の持続的な医療基盤の充実・産業の発展～

富山県の課題
地域枠の必要性

- 全国で薬剤師数が増加する一方で、富山県内への薬剤師定着、確保が課題
【人口10万人当たりの薬剤師数増加率（H22→R2）】 全国平均：18.2%増、富山県：▲1.3%
(全都道府県唯一のマイナス)
- R2年度求人に対する県内充足状況【公的病院：44.9%、製薬企業：36.4%、行政：50.0%】
- 富山県出身者の6年制薬学部への進学者不足
【人口千人当たりの6年制薬学部在籍者数（R3）】 富山県：0.3179人（全都道府県中最下位）
→ 本学薬学部 に在籍する県内出身学生の約74%が、県内への就職を希望するなど、地元志向が高い。
- 富山県の基幹産業である「医薬品産業」発展のため製薬企業等において薬剤師の確保が必要

- ◆ 富山大学薬学部薬学科への「地域枠」入試制度の導入により、地域医療や地域産業への貢献意欲が高い学生を受け入れる。
- ◆ 「産・学・官連携」により地域への深い理解と高度な専門性を涵養し、富山県内の持続的な医療基盤の充実・産業の発展を支える中核となる薬剤師の輩出・地域定着を目指す。

養成する人材像

- 富山県内で活躍する医療人として、
- 公的病院等において地域の高度医療に貢献できる薬剤師
 - 薬局において専門医療機関連携等の高度な薬学管理に対応できる薬剤師
 - 医師や看護師等と多職種連携で地域医療に貢献できる薬剤師
 - 製薬企業において研究開発や品質保証を担う薬剤師

「地域枠」入試の概要

総合型選抜Ⅰ（地域枠）※富山県内高等学校卒業者を対象とする

- 募集人員 | 10人（学校推薦型選抜 15人→10人：▲5人）
（一般選抜（前期）40人→35人：▲5人）

- 選抜方法 | 一次試験
 - ・書類審査（自己推薦書、調査書）
 - ・適性検査（英/数/物/化の記述式試験）
 - 薬学科生をリードする、高い学力を有することを評価

令和6年4月
入学生への
入試から対象

- 最終試験
 - ・面接（積極性・地域への貢献意欲などを確認）
 - ・地域医療等に関するプレゼンテーション
 - 地域をリードする、卓越した資質を有することを評価

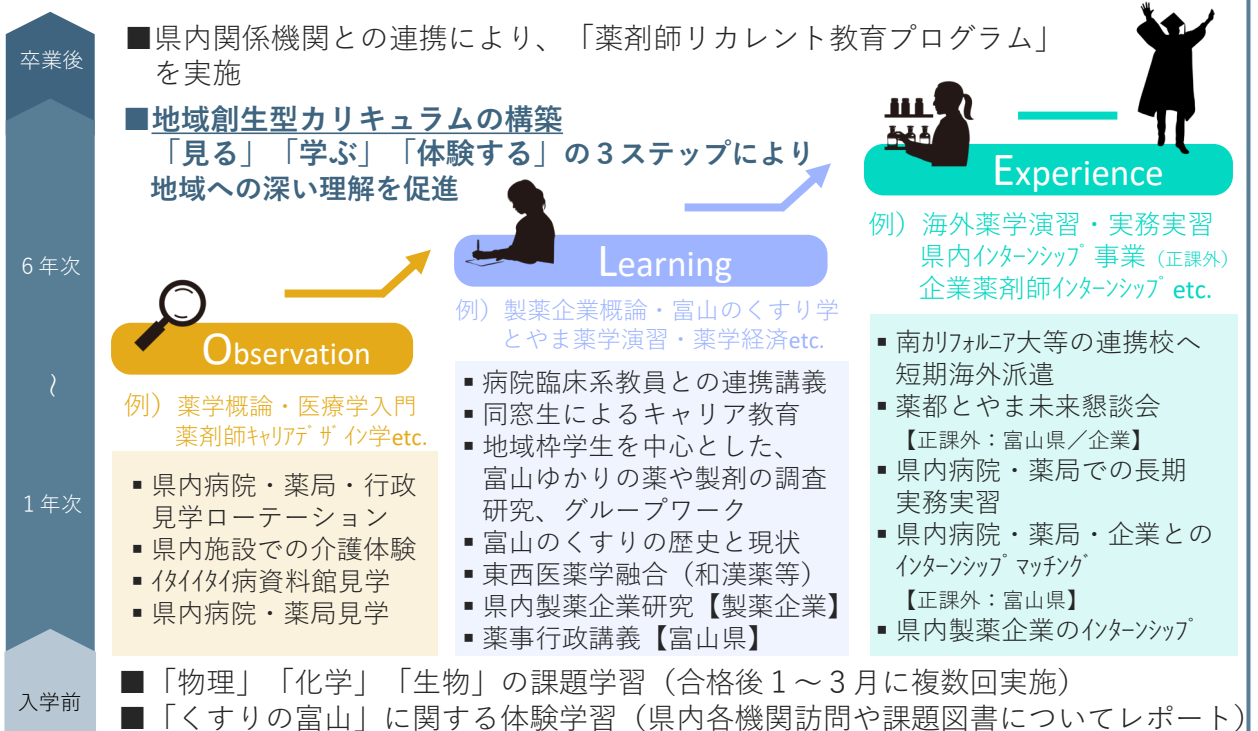
学生への支援

- ALL富山県による奨学金等の学生支援を富山県に要望
- 薬学部富山県内就職促進委員会
- 薬学部臨床薬学教育推進センター フューチャー・アレンジメント部門の新設（R4.11）
→インターンシップを始めとした正課、正課外イベント、経済支援等富山県内への就職を一貫してサポート

「入学前」から「卒業後」まで一貫した特色ある教育

【教育課程編成方針】

薬学科では、卒業認定・学位授与方針に掲げる5つの能力を学修するため、教養教育科目及び専門教育科目を体系的に編成し、地域及び県内外の病院、企業、行政などから必要とされる薬剤師として活躍するための教育を実施する。



※地域創生型カリキュラムは現在検討している内容であり、今後変更することがあります。